

Fukuoka City Public Library Movie Hall

Ciné-là

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

シネラ・ニュース
May 2025

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

5

ピアニストを待ちながら

©合同会社インディペンデントフィルム／早稲田大学国際文学館

企画上映

アーカイヴ・コレクション Part 19

七里圭「ピアニストを待ちながら」
伊藤高志「遠い声」 + 収蔵作品集

遠い声

ミラグロス

企画上映

アジアの 第5期:フィリピン篇
女性映画監督再考

通年上映



紙の花

アーカイヴ発見

無法松の一生(1965)

通年上映

午前11時の
日本映画・
アジア映画
classics

七里圭「ピアニストを待ちながら」/伊藤高志「遠い声」+収蔵作品集

◎観覧料:大人=600円/大学生・高校生=500円/中学生・小学生=400円
福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員=300円(要証明書・会員証原本提示)
障がい者の方および介護者の方1名=300円(要証明書提示)◎映画「ピアニストを待ちながら」のみ特別料金
一般=1,400円/学生(大学生・高校生・中学生・小学生)および各種割引=700円
※以下の方が割引となります(要証明書・会員証原本提示)
①福岡市在住の65歳以上の方②「わたすクラブ」会員③障がい者の方および介護者の方1名

その他の上映

◎観覧料:大人=500円/大学生・高校生=400円/中学生・小学生=300円
福岡市在住の65歳以上の方・「わたすクラブ」会員=250円(要証明書・会員証原本提示)
障がい者の方および介護者の方1名=無料(要証明書提示)

◎定員(242席、車椅子席4席)・各回入替制/当日券のみ・各回上映の1時間前から販売(上映開始の30分前後まで)

企画上映

映画表現の可能性を拡張するふたりの映画作家の
新作上映に、収蔵作品を交えて特集します。

アーカイブ・コレクション Part 19 七里圭「ピアニストを待ちながら」 伊藤高志「遠い声」+ 収蔵作品集

会期:5月3日(土・祝)~11日(日)、17日(土)、24日(土)

※休館日・休映日除く

5/3(土・祝) 14:00 ※トークイベントのみの参加は無料

「ピアニストを待ちながら」上映後トークイベント

ゲスト(敬称略):七里圭(映画監督)、伊藤高志(映像作家)

伊藤高志監督作品

3 土・祝 11:00 4 日・祝 14:00 10 土 17:00

遠い声

Distant Voices



ふたりの女性が、カメラを持ってさまようのは、人けのない港の倉庫、ひまわり畑、廃墟と化した公営住宅群。一人は不可思議な事や自分にカメラを向け、もう一人は黒いワンピースをさまざまな場所に吊るして撮る。息を呑むような殺伐とした空気が漂いながら、映画的な技法が随所にちりばめられ、見る驚きに満ちている。

脚本・撮影・編集:伊藤高志 音響:稲垣貴士 伊藤高志
出演:郡谷奈穂 池末朱莉

2024 / 日本 / 53分 / デジタル

10 土 14:00

最後の天使 + 零へ

(2本立て / 計105分・デジタル)



最後の天使 Last Angel

二組のカップルの不穏な関係。彼女は私の妄想なのか、それとも私の方が彼女の妄想なのか...「静かな絶望をキーワードにこの世の不条理、存在の不確実性といったネガティブイメージを魅惑的な映画として成立させようと試みた」と伊藤監督が語る。第61回オーバーハウゼン国際短編映画祭のコンペティション部門選出。

脚本・撮影・編集:伊藤高志 音響:荒木優光
出演:大谷 悠 松尾恵美 村上璃子 上川周作

2014 / 日本 / 33分 / 作家蔵



零へ Toward Zero

カメラを回しながら次第に死と暴力にとりつかれる女子学生、性に妄執しつつも死の影に怯える初老の男、男の手首を抱え、捨て場所を求めて彷徨する女。断片的な描写が織り重ねられ、複数の物語が交錯せず、しかし共鳴しながら進行する。福岡の舞踏シーンから得た感覚が加わり、新境地となった作品。

脚本・撮影・編集:伊藤高志 音響:荒木優光
出演:高橋瑞乃 シンミキコ 天津孔雀 松田美和子 原田伸雄

2021 / 72分 / 作家蔵

11 日 14:00

伊藤高志集A

(7作品・約50分 / 16ミリフィルム上映)



- SPACY 1981 / カラー / 10分
- BOX 1982 / カラー / 8分
- THUNDER 1982 / カラー / 5分
- DRILL 1983 / カラー / 6分 / サイレント
- GHOST 1984 / カラー / 6分
- GRIM 1985 / カラー / 8分
- WALL 1987 / カラー / 7分

24 土 17:00

伊藤高志集B

(6作品・約49分 / 16ミリフィルム上映)



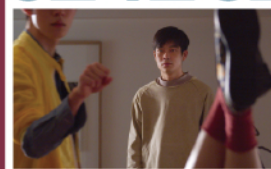
- 悪魔の回路図 Devil's Circuit 1988 / カラー / 8分
- ミイラの夢 The Mummy's Dream 1989 / 白黒 / 6分 / サイレント
- ビーナス Venus 1990 / 白黒 / 5分 / サイレント
- THE MOON 1994 / カラー / 7分
- ZONE 1995 / カラー / 13分 / 作家蔵
- モノクローム・ヘッド Monochrome Head 1997 / カラー / 10分

THE MOON

七里圭監督作品

3 土・祝 14:00 4 日・祝 11:00 5 月・祝 14:00 6 火・休 14:00 9 金 14:00

Waiting for the Pianist



ピアニストを待ちながら

特別料金 大人1,400円 / 学生および各種割引=700円

ガラスの向こうは明けられない夜。自動ドアはいつでも開くが、どういわけか外には出られない。どこにも行けない理不尽な状況で、居合わせた男女5人は、なぜか芝居の稽古に興じ始める。真夜中の図書館で起きる軽やかな不条理劇。本作は、早稲田大学に開設された村上春樹ライブラリー(早稲田国際文学館)の開館記念映画として委嘱され、製作された。

脚本:七里圭
出演:井之脇海 木竜麻生
大友一生 辻谷麻美
斉藤陽一郎

©合同会社インディペンデントフィルム / 早稲田大学国際文学館
2024 / 日本(インディペンデントフィルム) / カラー / 61分 / デジタル

3 土・祝 17:00 11 日 11:00

七里圭短編集

(計85分 / 特に表記のないものはデジタル上映)



- 時を駆ける症状 Existence Flicker Symptom 1984 / 24分
- Untitled for Cindy 2003 / 20分
- 夢で逢えたら What We Do is Secret 2004 / 20分 / 35ミリ
- Aspen 一本道編・白樺編 Aspen 2010 / 14分
- La Boussole 2021 / 8分



サロメの娘 アナザサイド(in progress)

Salome's Daughter / Another Side (First Fruits)

「サロメの娘」はオリジナルの散文詩。詩劇「サロメ」を、現代の母と娘と不在の父の物語に読み替え、書き下ろされた。このロング・テキストは、まず多声の朗読で録音され、音響作品(ミュージック・コンクレート)に構成されて、次に登場人物たちの独演を撮影したサイレント映像がモンタージュされた。2016 / 日本(charm point) / カラー / 70分 / デジタル

脚本:新堀未成 七里圭 音楽:檜垣智也 出演:黒田育世 長宗我部陽子 工藤美岬 館屋法水 声の出演:青柳いづみ 原マスマ sei 山崎阿弥

6 火・休 11:00

アナザサイド サロメの娘 remix

Another Side / Salome's Daughter - Remix



『サロメの娘 アナザサイド(in progress)』と同じテキスト、同じ朗読によるサウンドトラックを用いた2本目の映画作品。今回はナラティブに重心を移し、母と娘、不在の父親の関係が揺らげる。しかし、母とは、娘とは、父とは誰なのか。その自己同一性は、多声によるモノローグ、重層化する映像と音響のはざままで揺らぎ続ける。2017 / 日本(charm point) / カラー / 80分 / デジタル

テキスト:新堀未成 音楽:檜垣智也 出演:長宗我部陽子 黒田育世 館屋法水 工藤美岬 声の出演:青柳いづみ 原マスマ sei 山崎阿弥

9 金 11:00

あなたはわたしじゃない

You Are Not Me (Salome's Daughter / Deconstruction)



あの晩、私は森の中で置き去りにされた。獣のマスクをしたあの人は、私のお母さん、だったのだろうか? けどとも知れぬ白い部屋で、若い女がつぶやき続ける。母から娘へ継がれるカルマを断ち、アイデンティティのくびきから解き放たれるために、オリジナル散文詩「サロメの娘」の三度目の映像化。2018 / 日本(charm point) / カラー / 84分 / デジタル

テキスト:新堀未成 出演:青柳いづみ 長宗我部陽子 黒田育世

10 土 11:00 17 土 17:00

35ミリフィルム作品

(2本立て / 計103分)



のんきな姉さん My Easygoing Sister

姉との禁じられた愛の記憶を小説に書き、雪山で自殺しようとする弟と、聖なる夜にオフィスで残業する姉。その二人の現在に、記憶=小説がフラッシュ・バックされてゆく。雪山と都会、現在と過去という二つの空間、二つの時間が錯綜し、目覚めれば目覚めるほど夢に近づいていく、不思議な感觸の長編劇場公開映画第一作。

脚本:七里圭 原作:山本直樹
出演:梶原阿貴 塩田貞治
大森南朋 梓

2004 / 日本(のんきな姉さん製作委員会) / カラー / 87分



DUBHOUSE:物質試行52 DUBHOUSE

2010年、建築家・鈴木了二のインスタレーション「物質試行51:DUBHOUSE」の記録映画。建築が生み出す闇を捉えるという当初の意図は、翌年3月11日の出来事により決定的な変化を被る。七里監督は、展示作品を撮影した光の部分と同じ時間の闇を冒頭に置き、その中に、鈴木が描いた被災地のドローイングを沈ませた。

共同監督:鈴木了二
音楽:池田拓実

2012 / 日本 / カラー / 16分 / Fujiフィルム版

通年上映

福岡市総合図書館が収蔵する作品のなかから、日本とアジアの選りすぐりの古典映画や名作を木曜・金曜・土曜に週替わりで上映します(一部期間を除く)。

午前11時の 日本映画・ アジア映画 classics

29 木 11:00 30 金 11:00 31 土 11:00

無法松の一生(1965)

福岡市総合図書館収蔵作品

監督:三隅研次

出演:勝新太郎 / 有馬稲子 / 宇津井健 / 二宮秀樹



明治三十年代の九州・小倉で、本名の富島松五郎より無法松の仇名で知られた暴れ者の人力車夫がいた。名作「無法松の一生」の4度目の映画化作品。1943年の阪東妻三郎主演、稲垣浩監督による最初の映画化と同じ伊丹万作の脚本を使用している。粗野だが純情な小倉の車夫、松五郎と陸軍大尉の未亡人親子との交流を描く。監督は「座頭市」の三隅研次。

1965 / 大映 / 96分 / カラー / 35ミリフィルム上映

アジアの女性映画監督再考 第5期:フィリピン篇

会期:5月14日(水)~6月1日(日) ※休館日・休映日除く

マリルー・ディアス=アバヤ監督(「ホセ・リサル」)作品を中心に、フィリピンの女性監督の作品を特集します。

14水 14:00
25日 11:00
愛の不条理
カルナル

Of the Flesh
1930年代のフィリピン。ナルシンはプリンと結婚し田舎の村に帰ってくる。ところがナルシンの父親は、自殺した母親によく似たプリンに關係を迫り、ナルシンは父親を殺害してしまう。アバヤ監督の初期の作品。社会から隔絶された村で起きる悪夢のような事件は、マルコス政権末期の当時のフィリピンを暗示している。



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:チャリト・ソリス/フィリップ・サルバドール
1984 / フィリピン/カラー / 110分 / 日本語字幕付き

17土 14:00
23日 14:00
ミラグロス

Milagros
酒場のダンサーとして働くミラグロスは、父親が死亡し、莫大な借金が残された事を知る。母親と一緒に借金返済のため農場で働くのだが、地主と彼の息子達はミラグロスに好意を寄せるのだった。ひ弱だが自由な存在であるミラグロスは、大自然と感応する不思議な力を持っており、一種の女性賛歌映画。ミラグロスを演じるシャーメイン・アーナイスの滲刺とした魅力が光る作品。



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:シャーメイン・アーナイス/ダンテ・リベロ
1997 / フィリピン/カラー / 133分 / 日本語・英語字幕付き

16金 14:00
31土 14:00
光、新たに

New Moon
マニラに住むアフマッドの家族はミンダナオ島で暮らしていた。ある日家族がイスラム教武装集団に襲われ、息子が死んでしまう。島に帰ったアフマッドは家族を連れて安全な場所を探す。フィリピンで実際に起きた政府軍と、イスラム教武装集団との戦いを背景にした作品。この映画の製作中にニューヨークで同時多発テロが起き、アバヤ監督の平和への強いメッセージが込められている。



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:セザール・モンタノ/アミー・オーストリア
2001 / フィリピン/カラー / 134分 / 日本語・英語字幕付き

18日 11:00
23金 11:00
愛すればこそ

Because I Love You
本作の主人公ドルスーラ・コルテスは実在の人物で、フィリピンで初めてエイズ患者として実名でのインタビューに応じた人物として、フィリピンでは大きな話題となった。エイズへの偏見や、患者を取り巻く問題を描きながら、常に前向きに生きるドルスーラ・コルテスの姿が、力強く生きる女性として描かれる。



監督:ローリス・ギリエン
出演:ウィルマ・サントス/クリストファー・デ・レオン
1993 / フィリピン/カラー / 111分 / 日本語・英語字幕付き

17土 11:00
30日 14:00
海に抱かれて

In the Navel of the Sea
1950年代フィリピンの離島。島で唯一の助産婦ローサは、ベビートという息子と二人で暮らしていた。ベビートは母親の後を継いで助産夫になろうとする。本作は島で暮らす人々の群像劇であり、呪術や呪いが信じられている不思議な世界が描かれる。西洋文化と伝説、信仰が共存する、独立直後のフィリピンの田舎の生活と雰囲気伝える、ファンタジックな傑作である。



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:ジョマリ・イラーナ/エリザベス・オロペサ
1998 / フィリピン/カラー / 113分 / 日本語・英語字幕付き

21水 14:00
6/1日 11:00
アメリカン アドボ

American Adobo
テレ、マイク、ジェリー、マリーサ、クリスの5人はニューヨークに暮らすフィリピン人。彼らはそれぞれに問題を抱えながらも、折にふれホームパーティーを開き、人生やフィリピンについて語り合うのだった。在米フィリピン人を描いた珍しい作品で、アメリカで初めてロードショーされたフィリピン映画。



監督:ローリス・ギリエン
出演:クリストファー・デ・レオン/リッキー・ダバオ
2002 / フィリピン/カラー / 104分 / 日本語・英語字幕付き

15木 14:00
6/1日 14:00
貴女のために たたかう

Redeem Her Honor
メイドとして働くマリアは、家の主人にレイプされてしまう。マリアの母親は裁判を起こす。教師のヒルダはまもなく結婚する予定だった。しかし以前つきあっていた男から睡眠薬を使って乱暴されてしまう。実際に起こった法廷事件を再現して大評判となったテレビドラマの映画化作品。2部構成の映画で、いずれも被害者の女性が周囲のサポートにより立ち上がる姿を描いている。



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:シャーメイン・アーナイス/ニーダ・ブランカ
1995 / フィリピン/カラー / 133分 / 日本語・英語字幕付き

16金 11:00
24土 14:00
ムロアミ

Reef Hunters
フレッドは少年達を雇うと、船でムロアミ漁に出港する。少年達は海に潜ると海底を石で叩き、魚を網に追い込んでいく。魚を沢山捕ることに血眼のフレッドは、部下の進言にも耳を貸さない。フィリピンで実際に行われていたムロアミ漁を描いた作品。環境破壊、児童労働などを告発した作品だが、見事な水中撮影シーンが素晴らしい。フィリピンで大ヒットした作品。



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:セザール・モンタノ/ベン・メディナ
1999 / フィリピン/カラー / 119分 / 日本語・英語字幕付き

22木 14:00
25日 14:00
昔と今

Then and Now
ジョーイは10年ぶりに母親の住むマニラに帰ってくる。母親が癌になり介護をするためだった。ジョーイは古くからの友人たちと旧交を温める。友人たちも皆家族持ち、それぞれの悩みを抱えていた。本作はアバヤ監督が1982年に監督した「モラル」という映画の続編である。「モラル」は本作の登場人物の青春時代を描いたもので、本作は彼女たちの20年後を描いたものである。



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:ディナ・ボネビー/エウラ・バルデス
2003 / フィリピン/カラー / 127分 / 日本語・英語字幕付き

22木 11:00
28水 14:00
マドンナ・アンド・チャイルド

Madonna and Child
未婚で出産したロエラは、2歳の息子を教会に預けて香港に働きに行く。ロエラは、7年後フィリピンに帰って来るのだが、教会が移転しており、息子は行方不明になっていた。ロエラは恋人と共に息子の行方を探すのだった。海外契約労働者というフィリピンならではの問題と、家族の愛情の関係を問いかけるアバヤ監督の代表作。



監督:マリルー・ディアス=アバヤ
出演:ローナ・トレンティーノ/ステファノ・モーリ
1996 / フィリピン/カラー / 121分 / 日本語・英語字幕付き

15木 11:00
24土 11:00
母と子

Child
香港で家政婦として働いたジョーシーは6年ぶりにマニラに帰ってきた。二女のダグは母親の事を忘れ、長男のマイケルは成績が落ちて奨学金をもらえなくなっていた。長女のカーラはドラッグに手を出して毎晩遊び歩いていた。フィリピン独特の問題に焦点をあて大ヒットを記録。日本でも劇場公開(日本語は「母と娘」)された作品。名女優ウィルマ・サントスが主演し、カーラと感情をぶつけ合う対決はすさまじい。



監督:ロリー・B・キントス
出演:ウィルマ・サントス/ジョエル・トーレ
2000 / フィリピン/カラー / 120分 / 日本語・英語字幕付き

18日 14:00
29木 14:00
ドバイの恋

Dubai
中近東のドバイで働くフィリピン人ラファイアは、唯一の肉親である弟のアンドルーを呼び寄せる。二人の夢はお金をためてカナダに移住することだった。しかしラファイアは生活に困った仲間にお金を貸しており、ほとんど貯金がないのだった。成長著しいドバイの生活が描かれる作品で、チャンスを求めて多くの外国人が生活していることが分かる。



監督:ロリー・B・キントス
出演:アガ・ムラック/ジョン・ロイド
2005 / フィリピン/カラー / 110分 / 日本語・英語字幕付き

通年上映 アーカイヴ発見

31土 17:00 **紙の花 Paper Flower** 福岡市総合図書館収蔵作品

1930年代。ボンベイの人気監督スレーシュは次作のヒロインを探していた。ある日スレーシュはシャーンティという女性と知り合い、次作のヒロインは彼女だと決断する。そして二人は次第に惹かれあっていく。1950年代インド映画の代表的監督として評価されているグル・ダッドの代表作。スレーシュをグル・ダッド自身が演じており、本作はグル・ダッド監督の自伝的作品と言われている。

福岡市総合図書館フィルムアーカイヴが収蔵する貴重な作品群のなかから、インドのグル・ダッドの代表作「紙の花」を35ミリフィルムで上映します。

※フィルムの状態が悪いため映像・音声不明瞭な箇所があります。あらかじめご了承ください。

監督:グル・ダッド
出演:グル・ダッド/ワヒーダー・ラフマーン
1959 / インド/白黒 / 149分
35ミリフィルム上映 / 日本語字幕付き





1木	休 映 日		
2金	11:00 女神(無音上映)	14:00 深夜の歌声	
3土	11:00 遠い声	14:00 特別料金 ピアニストを待ちながら 七里圭+伊藤高志トークイベント	17:00 七里圭短編集
4日	11:00 特別料金 ピアニストを待ちながら	14:00 遠い声	
5月	11:00 サロメの娘 アナザサイド(in progress)	14:00 特別料金 ピアニストを待ちながら	
6火	11:00 アナザサイド サロメの娘 remix	14:00 特別料金 ピアニストを待ちながら	
7水	休 館 日		
8木	休 映 日		
9金	11:00 あなたはわたしじゃない	14:00 特別料金 ピアニストを待ちながら	
10土	11:00 のんきな姉さん DUBHOUSE: 物質試行52	14:00 最後の天使 零へ	17:00 遠い声
11日	11:00 七里圭短編集	14:00 伊藤高志集A	
12月	休 館 日		
13火	休 映 日		
14水		14:00 カルナル 愛の不条理	
15木	11:00 母と子	14:00 貴女のためにたたかう	
16金	11:00 ムロアミ	14:00 光、新たに	
17土	11:00 海に抱かれて	14:00 ミラグロス	17:00 のんきな姉さん DUBHOUSE: 物質試行52
18日	11:00 愛すればこそ	14:00 ドバイの恋	
19月	休 館 日		
20火	休 映 日		
21水		14:00 アメリカン・アドボ	
22木	11:00 マドンナ・アンド・チャイルド	14:00 昔と今	
23金	11:00 愛すればこそ	14:00 ミラグロス	
24土	11:00 母と子	14:00 ムロアミ	17:00 伊藤高志集B
25日	11:00 カルナル 愛の不条理	14:00 昔と今	
26月	休 館 日		
27火	休 映 日		
28水		14:00 マドンナ・アンド・チャイルド	
29木	11:00 無法松の一生	14:00 ドバイの恋	
30金	11:00 無法松の一生	14:00 海に抱かれて	
31土	11:00 無法松の一生	14:00 光、新たに	17:00 紙の花
6/1日	11:00 アメリカン・アドボ	14:00 貴女のためにたたかう	

企画上映/映画の中国 1930年代

企画上映/アーカイヴ・コレクション Part 19

企画上映/アジアの女性映画監督再考 第5期:フィリピン篇

通年上映/午前11時の日本映画・アジア映画クラシックス

通年上映/アーカイヴ発見

映画の「実験」

福岡市総合図書館には多くの作品を収蔵しており縁の深い映画作家である七里圭さんと、伊藤高志さんの新作をシネラで上映します。伊藤高志さんの『遠い声』、七里圭さんの『ピアニストを待ちながら』ともに、そこには、軽やかな「実験」を見ることが出来ます。

七里圭さんは、16歳で撮った『時を駆ける症状』が、第8回 PFF(ぴあフィルムフェスティバル)に入選し大島渚に激賞されました。その後、映画の助監督を経験されました。他の監督の演出を誰よりも間近に見る助監督の立場から映画監督に至るステップは、ひとつの王道です。その後、七里さんは多様な表現者とのコラボレーションを重ね、特別な映画作品を生み出しています。昨年シネラで上映した『眠り姫』は七里監督の代表作のひとつです。

伊藤高志さんは、九州芸術工科大学(現・九州大学芸術工学部)在学中に、当時教授であった実験映画の巨匠・松本俊夫を驚かせたい!というモチベーションで制作した『SPACY』が世界中で高い評価を得て注目を浴びます。その後もコンスタントに作品を発表し続け、2024年にはアメリカのアカデミー・フィルム・アーカイブにて「Takashi Ito: Animating Spirits」と題された特集上映が行われました。

ふたりの近年の制作に共通しているのは、建築家や演劇人、ダンサーといった映画のプロフェッショナルとは少し異なる領域の表現者と協働し、映画の新しい文法を探ろうとされていることです。その先には、これまでにはなかった映画の語り=ナラティブの更新があります。

実験的な映画を見ると、少し感覚が研ぎ澄まされることがあります。上映が終わって外に出たときに、映画を見る前とは風景が違って見える、見えなかったことが見えてくる。今回のふたりの特集上映で、そうした経験を生んでくれる映画の魅力に浸ってもらえたらうれしいです。

5月3日には、どんたくのさなかですが、おふたりを招いての対談トークイベントを催します。先鋭的とか実験とかいうと身構えてしまうかもしれませんが、気になった作品をひとつでも、リラックスしてご覧になってみてください。

(学芸員・杉原)

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) Tel.092(852)0600 Fax.092(852)0609

福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ ホームページ

うえぶシネラ <http://www.cinela.com>



交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

市営地下鉄
西新駅または藤崎駅下車徒歩15分

西鉄バス
●博多駅、天神、西新から福岡タワー南口下車徒歩5分または博物館南口下車徒歩5分
●藤崎から福岡タワー南口下車徒歩5分
○所要時間は交通事情により異なります。バス運行時間、目的地までの所要時間の目安、またお近くのバス停からのご利用については、西鉄お客様センター(電話0570-00-1010)に直接お問い合わせください。